

第3回村上市保育園等施設整備計画審議会 会議録

会議名	第3回村上市保育園等施設整備計画審議会
日時	令和8年3月13日（金）午後2時00分～午後3時10分
会場	村上市神林支所 3階 大会議室
出席者	委員：仲委員（会長）、仙田委員、飯沼委員、市井委員、川村委員、渡辺委員（副会長）、遠山委員、大田委員、佐藤委員
	欠席委員：鈴木委員、富樫委員、木村委員、齋藤委員、小諸委員、皆川委員
	事務局：高橋こども課長、第二保育園 齋藤園長、金屋保育園 渋谷園長、向ヶ丘保育園 平山園長、山北そらいろ保育園 木村園長、こども課 子育て支援室 小野課長補佐、菅井副参事、志田副参事、高橋係長、子育て政策室 長谷部課長補佐、渡辺副参事、渡邊主査

会議録

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 第4次村上市保育園等施設整備計画（素案）について

【資料No.1】により事務局からの説明（P1からP13まで説明）

会 長：P12（1）②荒川地域で小規模保育事業の導入の検討とあるが、P7（2）⑥で小規模保育事業所を開設したが、集まらなかったという趣旨の記述がある。課題と方針に矛盾がある。課題で小規模保育事業所の入園が少ない状況で導入を検討することとなっているのでもう少し説明が必要ではないか。

事 務 局：P7（2）⑥は小規模保育事業の運営に対しての課題ではなく、未満児の受け皿が少ないという趣旨であり、それに伴いP12（1）①村上地域及び②荒川地域において小規模保育の導入を検討するもの。P7（2）⑥については分かりやすい表現に修正を検討する。

会 長：小規模保育の導入について民間の参入の見込みはあるのか。

事 務 局：参入の見込みに基づいた記載ではない。今後民間に声を掛け、参入調査等の検討をしていく。

会 長：小規模保育は地域によって民間の参入が厳しい所もあり、苦しい計画の印象も受けた。

委 員：P12（1）④で具体的な記載はないが、P14（5）の表を見ると朝日地域の3園が館腰保育園、猿沢保育園が高南保育園に統合されるように見えるがその見込みなのか。

事 務 局：事務局案としてお見込みのとおり高南保育園へ集約していくこととしている。

委 員：山北地域は小児科が無く、具合の悪い子どもを抱え50分掛けて通院しなければならない。山

北地域が子育てのし難い地域にならないようお願いしたい。

事務局：現状具体的な見込みはないが、P13(3)①の記載のとおり様々な手法を検討し、病児保育等の設置を行っていききたい。

委員：前回の会議での意見を踏まえて修正されている。懸念のあった地域間格差の無い様にする文言も追加されており安心した。

市としては様々な問題を抱えながら色々な改善に取り組んでいる状況や進捗、その経緯をしっかりと市民へ伝えていく必要がある。また、第3次計画も当審議会で色々な意見をいただきながら策定して進めていることから、村上地域に統合保育園の前の事業者撤退した原因、経緯を第4次計画に記載する必要がある。P32(2)①村上地域に統合保育園の前の事業者撤退した経緯等を記載するべきではないか。

事務局：同じ轍を踏まないためにもその経緯、反省点を追記する。補足であるが現在村上市統合保育園については、募集要項の見直しをして再募集を行っているところである。次回会議でその結果をお示ししたい。

委員：P12, 13の具体的な整備計画において民間活力の導入の取り組みがあるが、どのような手法があるのかお伺いしたい。

事務局：現在再募集を行っている統合保育園における「民設民営」、あらかわ、向ヶ丘、みのり保育園、村上病児保育センター等で導入している「指定者管理者制度」、「包括的業務委託」等、様々な手法があり、それらを検討していく。

委員：あらかわ保育園が当市の保育園で初めて指定管理者制度を導入した。運営に対する評価等をお伺いしたい。

事務局：民間の柔軟性を活かした非常に良い運営をいただいている。

会長：少子化の中で民間活力を導入していくこととしているが、民間の運営が厳しくなった場合、市はどのようにバックアップしていくかの担保が必要と感じた。新潟市でも現在保育所77園を10年間で半数とする統合計画を進めている。そうすると保育所が存在しない地域も出てきて、子育てのし難い地域となり、その地域は人口減少が加速することになる。人口減少が進みつつある中で、市としてその事態が発生した時の対応のビジョンを持っている必要がある。

前回の統合保育園の問題、民間活力を導入したことによる不安等があり、困ったときには民間を導入すれば何とかなるといふ希望的観測という印象も覚えた。

事務局：なんでも民間活力を導入するものではなく、行政が責任をもってやらなければいけない地域も出てくる。こども課としては、現在は民間で運営しても問題ない地域を中心に民間活力の導入を進めながら、合わせて統廃合を進めていくことを考えている。

委員：先に話のあった統合保育園については、当区長会でも話題になっている。先程説明のあった再募集が順調に進み整備運営できることを願っている。

委員：小中学校も統合の計画を進めており、地域、保護者にやむをえないという気持ちもあるが、実際無くなるとなると様々な感情的な課題や登下校バス等の実際的な課題が出てくる。統廃合を進めていく場合は、丁寧な説明が必要。丁寧な説明をしているつもりでも声が届かない人たちもいる。しっかり丁寧な説明を行いながら進めていただきたい。

事務局：P 1 4（5）の下段の米印にあるとおり、保護者など地域における合意形成を行うなど調整の上で進めていきたい。

【資料No.1】により事務局からの説明（P 1 4を説明）

事務局：素案では、P 1 4において具体的な統合先等を記載しているが、P 1 2， 1 3では具体的な記載の無い内容となっている。P 1 2， 1 3においても具体的な記載をするか、P 1 4を具体的な記載をしない等、両視点でご意見を伺いたい。

委員：先程の委員の意見にあったとおり、統合は丁寧に説明しながら進めていく必要がある。自身も多種の会議に出席しているが、その会議でも小学校の統合、保育園の統合の話題に集約されている。村上市の子育て環境がどのようになっていくのかが多くの方の心配ごとである。その方向性を少しでも具体的に示していただくことにより、子育て世代の考え方がよりまとまってくる。

事務局の説明にあったとおり、P 1 2， 1 3においても具体的な方向性を示しつつ、丁寧な説明を行いながら取り組みを進めていただきたい。

委員：P 1 4の図が読み取りにくい。村上市小・中学校望ましい教育環境整備計画方針の統合計画の図示を参考にしたレイアウトにしてはどうか。また、統廃合との表記も統合という表記にしてはどうか。

事務局：村上市小・中学校望ましい教育環境整備計画方針を参考にしながら見やすい図示を検討する。また、P 1 2， 1 3においても具体を記載し、次回示したい。

委員：現行の素案ではP 1 2， 1 3を見ながらP 1 4を確認する必要があるものとなっている。各委員の意見のとおり、P 1 2， 1 3で具体的な方針が分かる様に具体の記載が必要と感じる。

委員：各委員の意見のとおりP 1 2， 1 3にもP 1 4と整合性のとれた具体を記載すべきと考える。朝日地域の3園については、名称についても高南保育園として統合するという考えなのか。

事務局：あくまで高南保育園の建物を使用するというものであり、名称については今後保護者等を話し合いをしながら決めてきたい。

委員：朝日地域の保育園の統合先を高南保育園とした理由は何かあるのか。

事務局：施設の規模、築年数による施設改修の少なさ等、総合的に勘案して高南保育園を統合先とした。

会長：委員の意見のとおり統合先の理由等の記載もあればより保護者への説明になりうると考える。

副会長：各委員の意見のとおりP 1 2， 1 3にもP 1 4と整合性のとれた具体を記載すべきと考える。ただ、統廃合の「廃」はネガティブなイメージで捉えられるので村上市小・中学校望ましい教育環境整備計画方針のように統合という文言が良いと感じる。

会長：P 1 2， 1 3にもP 1 4と整合性のとれた具体的な方針、具体的な統合先についてはその理由も記載し、「廃」のようなネガティブな文字を使用しない。P 1 4の図も分かりやすいものとしていただきたいということを審議会の意見としたい。

～委員了承～

4 次回の会議日程  
令和8年5月頃

5 その他

6 閉 会